



情報システム工学講座
教授
とう やま ひで あき
唐山英明
(1971生)
博士(理学)

■経歴

大阪市立大学理学部物理学科卒(平6) / 大阪大学大学院理学研究科物理学専攻修士課程修了(平8) / 大阪大学大学院理学研究科物理学専攻博士課程修了(平成11) / 企業, 大阪大学産業科学研究所, 東京大学 IRT 研究機構等を経て, 富山県立大学工学部情報システム工学科准教授(平21) / 東北大学電気通信研究所客員准教授(平26-27) / 富山県立大学工学部情報システム工学科教授(平28) / 電子・情報工学科教授(平29)

担当科目 工業数学 / 生物情報学概論 / 生体情報工学 / 人間情報工学 (大学院)

専門分野 人間情報 / 生体情報

論文・報告
1. Majority rule using collaborative P300 by auditory stimulation, Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics, 2017.
2. Decision by majority by thinking, Transactions of the Virtual Reality Society of Japan, 2017.
3. Towards Ambulatory Brain-Computer Interfaces: A Pilot Study with P300 Signals, ACE2009.
4. Non-target photo images in oddball paradigm improve EEG-based personal identification rates, IEEE EMBS 2008.

著書 脳波とライフログ研究の融合、ウェアラブル・エレクトロニクス - 通信・入力・電源・センサから材料開発、応用事例、セキュリティまで -、分担執筆、2014.

所属学会 電子情報通信学会 / 日本バーチャルリアリティ学会

学会委員等 電子情報通信学会ソサエティ論文誌編集委員会査読委員 (2011-) / 日本バーチャルリアリティ学会 VR 心理学研究委員会幹事・委員長 (2019-2014) ほか

受賞歴 映像情報メディア学会業績賞 (2008) / 映像情報メディア学会藤尾フロンティア賞 (2008) / 船井情報科学奨励賞 (2007) / 日本バーチャルリアリティ学会学術奨励賞 (2006)

■現在の研究課題・概要

1. ブレインマシンインタフェース (BMI) の研究
脳波によるコンピュータ操作、疲労状態推定など
2. 人間情報・生体情報を利用した新しい研究分野の創出
機械学習・深層学習関連研究、VR 心理学研究、バーチャルリアリティ技術との融合、看工連携など

■共同研究キーワード

人間情報 / 生体情報 / 脳波・心電図など / ブレインマシンインタフェース / 機械学習 / 深層学習・ディープラーニング / 看工連携